

## 令和4年度 川崎市病院事業会計決算（見込）の概況

### ○ 決算見込みのポイント

◎病院事業全体（市立3病院計）の経常損益は、入院及び外来収益が増加したものの18億4,233万円の経常損失となりました。また、病院事業全体の純損益は、新型コロナウイルス感染症に係る補助金などにより13億2,124万円の純利益となりました。

#### 市立3病院の経営成績（税抜き）

（単位：円）

科目	川崎病院	井田病院	多摩病院※	病院事業合計
総収益	25,022,498,315	10,766,375,089	1,959,786,784	37,748,660,188
医業収益	20,484,650,067	7,695,667,885	1,017,901,071	29,198,219,023
医業外収益	2,719,483,273	1,774,065,977	602,286,107	5,095,835,357
特別利益	1,818,364,975	1,296,641,227	339,599,606	3,454,605,808
総費用	23,717,154,801	11,433,795,004	1,276,471,575	36,427,421,380
医業費用	22,377,414,449	10,765,293,044	1,016,225,984	34,158,933,477
医業外費用	1,134,490,188	582,864,852	260,094,383	1,977,449,423
特別損失	205,250,164	85,637,108	151,208	291,038,480
経常損益	△ 307,771,297	△ 1,878,424,034	343,866,811	△ 1,842,328,520
純損益	1,305,343,514	△ 667,419,915	683,315,209	1,321,238,808

※多摩病院は利用料金制を採用しているため、多摩病院の診療収益は市病院事業会計の決算に含まれておりません。

### ○ 患者状況・診療収益状況

◎川崎病院、井田病院では、入院、外来ともに患者延人数及び収益が増加しました。

◎多摩病院では、入院及び外来患者数は減少しましたが、診療単価の上昇により、入院及び外来収益は増加しました。

	入院患者延人数	外来患者延人数
川崎病院	166,758人 (5,043人増)	302,075人 (13,216人増)
井田病院	85,797人 (9,221人増)	143,027人 (2,654人増)
多摩病院	85,225人 (238人減)	197,226人 (5,909人減)

	入院患者実人数	1人平均入院日数
川崎病院	13,551人 (386人増)	12.3日 (増減なし)
井田病院	5,774人 (526人増)	14.9日 (0.3日増)
多摩病院	7,685人 (259人減)	11.1日 (0.3日増)

	入院収益（税抜き）	外来収益（税抜き）
川崎病院	130億1,593万円 (5億7,910万円増)	58億5,502万円 (6億446万円増)
井田病院	46億9,840万円 (5億6,818万円増)	25億5,854万円 (5,021万円増)
多摩病院	61億7,286万円 (4億2,925万円増)	29億2,441万円 (2,484万円増)

※（ ）は前年度比較

## ○ 業務状況

市立3病院では、市の基幹病院又は地域の中核病院として、公共の福祉の増進と経済性の発揮を基本としながら、高度・特殊・急性期医療や救急医療等を継続的かつ安定的に提供しています。また、災害、研修教育等の対応を含めた医療行政施策の推進、地域医療機関との連携強化など、本市の医療水準の向上に寄与できるよう取り組んでいます。

このような中、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の市中感染等の広がりを受け、既存病床を新型コロナウイルス感染症専用病床に転換するなど、流行状況に応じた柔軟な対応を行いながら、年度当初から感染症患者の入院受入れを積極的に行い、通常診療との両立に取り組みました。さらに、感染症患者の入院調整等を行う調整本部への人員派遣や、福祉施設・事業所に対する感染症防止対策の指導・研修を主眼とした出前講座を実施するなど、様々な面で新型コロナウイルス感染症に対応してまいりました。

本市病院事業においては、公立病院として新興感染症への対応が求められる中、地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供するとともに、更なる経営改革と経営健全化を図るため「川崎市立病院経営計画 2022-2023」を策定し、取組を進めています。

◎川崎病院においては、高度・特殊・急性期医療、救命救急医療を中心に、小児から成人・高齢者・妊産婦等への医療や、精神科救急医療などを提供しています。令和4年4月にはがん診療の実績と機能が評価され地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。川崎病院再編整備については、エネルギー棟及び給水ポンプ棟の建築工事を進め、また、救命救急センターと既存棟の実施設計を行いました。

◎井田病院においては、増大するがん等の成人疾患医療、救急医療、結核医療、緩和ケア医療などを提供しており、在宅療養後方支援病院として、地域の在宅医をサポートする取組も進めています。令和4年度は、「がん・総合健診センター」を開設し、各種検診に加えて、精密ながん検診を提供する体制を整えました。また、令和4年7月には、神奈川県災害拠点病院の指定を受けました。

◎多摩病院においては、小児救急を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、アレルギー疾患医療等の一般診療を提供しています。また、地域医療支援病院として引き続き地域の医療機関との連携に努めるなど、北部地域の中核病院としての役割を果たしています。令和4年5月には緩和ケア病棟を設置し、運用を開始しました。なお、本病院は指定管理者制度を採用し、学校法人聖マリアンナ医科大学が運営管理を行っています。

## ○ 主な建設改良

◎川崎病院では、改修工事及び救命救急センター新築工事の設計を実施したほか、7階電気室の医療用無停電電源装置の更新等を実施しました。井田病院では、改築整備事業完了に伴う開発行為申請手続き等を実施しました。

◎医療器械については、川崎病院では、生理検査システムの更新等を行いました。井田病院では、原価計算ソフトの導入等を行いました。

【問合せ先】 川崎市 病院局 経営企画室 経理担当 佐藤  
電話 044-200-3855

令和4年度 川崎市病院事業会計決算総括表

(収益的収支)

(単位：円、%)

会 計 名		収 入	支 出	差 引	税抜処理後純損益	前年度繰越損益	その他未処分利益 剰余金変動額	当年度未処理損益
病院事業会計	予 算 現 額	36,270,273,000	37,338,017,000	△ 1,067,744,000	—	—	—	—
	決 算 額	37,891,685,372	36,540,488,515	1,351,196,857	1,321,238,808	△ 16,859,746,468	—	△ 15,538,507,660
	執 行 率	104.5	97.9	—	—	—	—	—

(資本的収支)

(単位：円、%)

会 計 名		収 入	支 出	差 引	補 填 財 源 等				再 差 引	備 考
					繰越工事資金	損益勘定 留保資金	前 年 度 財源充当額	そ の 他		
病院事業会計	予 算 現 額	3,898,073,000	5,902,908,713	△ 2,004,835,713	—	1,995,387,713	—	9,448,000	—	
	決 算 額	2,854,867,000	4,849,896,871	△ 1,995,029,871	△ 100,230,000	1,893,517,892	197,010,000	4,731,979	—	
	執 行 率	73.2	82.2	—	—	—	—	—	—	

令和4年度 病院事業会計決算（見込）のポイント（税抜き）

<病院事業全体>

			令和4年度決算 (見込)	令和3年度決算	増 △減額	増 △減率	備 考
1 収益的収入			377億4,900万円	400億2,700万円	△22億7,800万円	△5.7%	
主な 収入	入院収益	177億1,400万円	165億6,700万円	11億4,700万円	6.9%	患者延人数、診療単価の増加による川崎病院及び井田病院の増	
	外来収益	84億1,400万円	77億5,900万円	6億5,500万円	8.4%	患者延人数、診療単価の増加による川崎病院及び井田病院の増	
	他会計繰入金	58億8,400万円	59億5,000万円	△6,600万円	△1.1%		
2 収益的支出			364億2,700万円	346億1,200万円	18億1,500万円	5.2%	
主な 支出	給与費	165億6,900万円	161億2,300万円	4億4,600万円	2.8%		
3 経常損益			△18億4,200万円	△8億 700万円	△10億3,500万円	△128.3%	
内訳	川崎病院	△3億 800万円	4億5,200万円	△7億6,000万円	△168.1%		
	井田病院	△18億7,800万円	△14億6,600万円	△4億1,200万円	△28.1%		
	多摩病院	3億4,400万円	2億 700万円	1億3,700万円	66.2%		
4 純損益			13億2,100万円	54億1,500万円	△40億9,400万円	△75.6%	
内訳	川崎病院	13億 500万円	38億5,500万円	△25億5,000万円	△66.1%		
	井田病院	△6億6,700万円	12億6,500万円	△19億3,200万円	△152.7%		
	多摩病院	6億8,300万円	2億9,500万円	3億8,800万円	131.5%		

(注) 増△減率が正の場合、収支は改善している。負の場合、収支は悪化している。

5 資金不足比率	— (資金不足となっていない)	— (資金不足となっていない)			参考：財政健全化法における経営健全化基準 20%
----------	--------------------	--------------------	--	--	--------------------------

※ 金額については百万円未満を四捨五入（一部、端数調整有り）

※ 増減率については小数点第2位を四捨五入